

耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、こんにちは。師走もあとわずか。あわただしい毎日が続くと思いますが、くれぐれもご自愛ください。

お釈迦様の教えを噛みしめながら、社会や人のあり方を考える「耕平さんかわら版」。先月は「諸悪莫作(しよあくまくさ)」「衆善奉行(しゆぜんぶぎよう)」、自らの意思で「悪いことをしない」「善いことをする」という仏教の真髓を学びました。

仏教の真髓と聞くと「空」という漢字も思い浮かびます。「空」とは何も「無い」という意味ではありません。「色即是空(しきそくぜくう)」という言葉もよく知られています。「色」は肉体や物質のこと。肉体は即ち「空」である。さて、どう受け止めるべきでしょうか。

「死ねば、無くなる」ということではありません。永遠に変わらないもの、変

わらずに存在し続けるものはない。そのことをひと言で表すと「空」。

全てのかたちあるものは、いろいろな要素や原子の集まりやつながりから生まれ、何かの偶然で存在しているにすぎません。人間の場合、両親が何かのご縁で知り合い、あなたが生まれ、寿命が尽きると、元の要素や原子に還っていく。そのようなことが「空」です。

「諸行無常」「諸法無我」をひと言で表すと「空」ということかもしれません。「色即是空」は「肉体がなくなる」のではなく、「肉体に不滅なものはない」ということを論じています。「魂や精神は不滅」「生まれ変わる」という人が時々いますが、そんなことは誰も確認できません。魂や精神もやはり「空」。

「空」の原語はサンスクリット語の「シューニャ」。本来は医学用語で、症状と

して現れている現象のことです。つまり、何かの原因と条件によって一時的に現れている現象にすぎない。だから「空」。

何かの原因と条件と聞くと、「因縁」という仏教用語も思い出します。人間も含め、全てのものは何かの「因縁」「衆縁和合」で生じているにすぎず、「色即是空」です。

このことに得心すると、こだわりや欲からも解放されます。しかし、だからといって、努力や善行を怠っていいということではありません。ここが難しい。こうしたことが理解できる人が増えれば、争いごとや悩みごとの少ない社会になりそうですね。仏教の教えは、日常生活においても、政治においても、多くの気づきを与えてくれます。

それでは皆さん、良い年をお迎えください。

※

耕平

12月23日(火/祝)
開催予定



第11回

「弘法さんを語る会」

定員50名

午前の部: 10時30分(受付10時)

午後の部: 13時(受付12時30分)

会場 日泰寺西側「専修院」

今年のテーマ

最澄・空海後の仏教
鎌倉時代～江戸時代

～執筆者・大塚耕平がお話させていただきます～

参加無料

(定員50名/事前にお申し込み頂ければ幸いです)

お問い合わせ 大塚耕平事務所 TEL 052(757)1955 あさい

